

# 平成 23 年度在宅歯科医療連携室整備事業活動報告書

(社)富岡甘楽歯科医師会

富岡甘楽歯科医師会は、平成 23 年度在宅歯科医療連携室整備事業を、群馬県からの委託事業として下記のとおり実施した。

## 目的

在宅歯科医療における医科や介護等の他分野との連携を図るための窓口を設置することにより、県民や在宅歯科医療を受ける者及び家族等のニーズに応え、県の在宅歯科医療の推進及び安心して安全な歯科医療の提供体制の構築を図る。

## 内容

1. 医科・介護等との連携・調整に関する業務
2. 在宅歯科医療や口腔ケア指導等を実施する歯科診療所等の紹介に関する業務
3. 在宅歯科医療機器の貸出しに関する業務
4. 広報に関する業務

### 1. 医科・介護等との連携・調整に関する業務

#### ① 公立富岡総合病院及び公立七日市病院と連携契約書の締結継続

当会の会員が口腔外科の医長を務めている公立富岡総合病院、歯科医師会と隣接する公立七日市病院と平成 22 年 11 月に医療連携契約書を契約し、より安心して診療を提供できる体制を整備し、平成 23 年度も継続している。

#### ② 多職種との利用者情報の共有

甘楽富岡在宅ケアの会等の活動を通して、多職種との連携を図っている。

在宅ケアの会は、年に 6 回の勉強会(定例会)や視察、講演会などを行っている富岡甘楽地域の多職種協働の民間団体で、富岡甘楽歯科医師会は平成 4 年から参加している。会員は、医師、歯科医師、歯科衛生士、訪問看護師等の医療職、介護支援専門員、介護士、社会福祉士等の介護職、行政職、実際に介護に携わっている家族、ボランティアの会などで構成されている。平成 23 年度第 1 回勉強会において在宅歯科医療連携室について説明し利用方法等理解を計った

#### ③ 歯科保健管理契約の締結による歯科健診・口腔ケアの実施と予防管理の推進

富岡甘楽歯科医師会は、身体障害者療護施設みらい、特別養護老人ホームシルク、知的障害者更生施設妙義もみじ学園、指定介護老人福祉施設かぶらの里、指定介護老人福祉施設さわやかホーム、富岡市障害者福祉作業所つくし学園、特別養護老人ホーム天の間園、特別養護老人ホーム妙義、下仁田町福祉作業所の 9 施設と歯科保健管理契約を締結している。管理契約を結ぶことにより、介護施設等の歯科健診・口腔ケアなどを通じ、隠れていた問題・必要性を掘り起こし、予防管理の推進を図っている。平成 23 年度はさらに地域密着型特別養護老人ホームシルク・おばたと契約し合計 10 施設となった。

また、口腔ケア指導の要望が多く実施回数も年々増加傾向にある。

④富岡保健福祉事務所主催の歯科保健連絡調整会議

昨年度に続き、富岡甘楽歯科医師会から在宅歯科医療連携室について説明を行い、在宅療養者についての課題について意見交換が行われた。申し込み方法等について再確認を行った。

⑤施設職員へ口腔機能の維持管理の重要性及び多職種連携について講話を実施した。

地域密着型特別養護老人ホームシルク・おばた (8/22)

特別養護老人ホームシルク (10/14)

有料老人ホームベストライフ星の里 (3/28)

## 2. 歯科診療所等の紹介業務

① 歯科訪問診療協力歯科医院名簿を再作成

昨年作成した訪問診療協力歯科医院名簿を改正した。

② 紹介業務の流れの充実と会員への周知徹底

歯科訪問診療担当者の決定方法や情報の伝達方法などを検討し、紹介業務の流れを作成して、会員に周知した。昨年からの開始で、会員の中でも理解が不十分であったので、例会等の機会を利用し、説明を繰り返しおこなった。歯科医院の選択方法は、患者の主治医及び希望を優先し、近くの歯科医院、特殊診療委員会の順で、必ず担当医を紹介できる体制を整備した。

③ 電話・窓口対応のために記録用紙を利用

電話や窓口での対応のために昨年度作製した記録用紙を施設等関係者に事前に配布し、利用しやすくした。

④事前訪問（歯科衛生士による訪問調査）の実施

状況を把握するため必要に応じて、歯科衛生士が事前訪問を実施している。平成23年度は相談件数125件中64件（内15件は施設口腔ケアで対応）の歯科衛生士による訪問調査を実施した。

歯科衛生士による訪問調査回数

★歯科衛生士による施設口腔ケア時における調査

❁要請により実施した歯科衛生士による訪問調査

月	★施設	❁訪問	月	★施設	❁訪問	月	★施設	❁訪問
4月	5	3	8月	2	6	12月	0	3
5月	2	2	9月	1	5	1月	2	4
6月	2	1	10月	0	13	2月	0	2
7月	1	5	11月	0	2	3月	0	3

⑤歯科医師の勉強会の開催

平成23年3月26日に実施予定であった学術講演会が東日本大震災のため延期になっていたもので、6月11日に、日本歯科大学新潟生命歯学部准教授 田中彰先生をお迎えし、「安心安全な訪問歯科診療のための要介護高齢者に関する全身的知識と医療連携」という演題で、実施した。

会員並びに他地区の歯科医師も参加し地域医療連携、訪問歯科診療 等について研修した。

### 3. 診療機器の貸出し業務

#### ① 訪問用診療機器の整備

昨年度購入したポータブルユニット(オサダポータブルユニット デイジー)、ポータブルレントゲン(オサダ デキシコADX4000)を、整備しいつでも貸し出しができるようにしている。

#### ② 訪問用診療機器の使用説明を実施

昨年購入時に説明会を実施したが、実際に使用する際に困惑するので、貸し出し時には使用説明書を配布し、使用方法について説明している。

#### ③ 訪問用診療機器の管理

訪問用診療機器は歯科医師会で管理し、貸出簿を作成して貸し出し状況を管理している。

### 4. 広報に関する業務

#### ① リーフレットの配布

昨年作成した在宅歯科医療連携室のリーフレットを、歯の健康フェア 2011 (6/5) において大きく拡大し掲示した。また、歯の健康フェア 2011 をはじめ下仁田町健康祭 (11/6) 南牧村健康祭(11/20)、甘楽町健康祭(10/23)など各種健康祭においてリーフレットを 配布した。

#### ② ふうせんの追加作成と配布

昨年作成した在宅歯科医療連携室の広報用のふうせんを追加作成し、歯の健康フェア 2011 (6/5) 下仁田町夏祭り (8/14) などで、配布した。

#### ④ 市町村の広報に掲載

平成 24 年 1 月 1 日発行の甘楽町の広報に、在宅歯科医療連携室についての紹介記事が掲載された。

#### ⑤富岡甘楽歯科医師会ホームページの活用

富岡甘楽歯科医師会のホームページで在宅歯科医療連携室について紹介している。

<http://www.tkda.jp/newpage271.html>

#### ⑥群馬県歯科保健大会において一年間の事業報告を行った。

一生涯を通した歯科保健対策の確立をめざして [16]

在宅歯科医療連携室 ～在宅患者と歯科医療との架け橋～

社団法人富岡甘楽歯科医師会 歯科衛生士 ○松本裕美 入山久美子 中野友美 (12/1)

#### ⑦歯科衛生士がケアカンファレンス等に参加し、口腔機能の維持管理の必要性を説明、連携先等の紹介など必要に応じ情報提供した。

#### ⑧専門団体等の研修会において在宅歯科医療連携室業務について紹介した。

群馬県歯科衛生士会西毛支部研修会 (9/29)

渋川保健福祉事務所ブロック研修会 (10/24)

歯科衛生士の資格をもったケアマネージャが増加し、施設等で働くことにより歯科的な問題の早期発見が可能になり、周囲の他の職種へ影響を与え歯科保健に対する関心を高めている。